

27年度 外国語科

教科書選定の観点

- (1) 外国語科の目標を達成するために、基礎的・基本的な知識・技能等の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。
- (2) 思考力・判断力・表現力等を育成し、幅広い表現活動の充実を図るために配慮がされていること。
- (3) 生徒が意欲的・主体的に学ぶことができるよう、問題解決的な学習活動が展開しやすいこと。
- (4) 学習の深まりを目指すスパイラルな指導に加え、英語を使用したコミュニケーションを図る場面設定等、活用することを通して定着を図るために言語活動の充実並びに発展的な学習に向けた工夫がされていること。
- (5) 国際社会において相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思を表現できる力を育成する観点から、外国語能力の基礎や表現力等のコミュニケーション能力の習得を図るための工夫や配慮がされていること。
- (6) 生涯にわたって学び続ける態度を育めるよう、探究意欲を高める工夫や、学んだことを活用して、さらに発展的な学習につながるよう考慮されていること。
- (7) 単元構成の系統性・発展性や他教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、他校種、また、環境教育、情報教育、生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連に配慮がされていること。
- (8) 基本人権の尊重及び道徳性の育成の視点からの内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。
- (9) 表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて配慮がされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。